

1 学校の重点目標

○ 基礎・基本を身に付け、活用できる力を育成する指導の工夫
○ 生徒指導を中心とした、落ち着いた学習環境作りの工夫
○ 継続的な運動の機会を確保するための一校一運動の充実

2 課題と改善策

(4段階評価)

	評価項目	評価	改善策
重点項目	1 子どもたちが考え学び合う授業の工夫に努める。	3. 0	○コロナ感染対策を行いながら、意見交流ができるように、タブレットの活用など、指導方法をこれまで以上に研究、実践する。 ○「あ・ハ・は」運動と併せて、「は・さ・み」を全職員で指導する。
	2 「あ・ハ・は」運動を徹底し、学習環境作りに努める。	2. 8	
	3 縄跳び運動を始めとした運動の機会設定に努める。	3. 0	
	基本的な生活習慣と確かな基礎学力の育成	平均	改善策
学力向上	1 基本的な学習習慣を身に付けさせる。	3. 1	○基礎・基本を身に付けさせるためにデジタルドリルの活用するとともに、音読を家庭学習に意識して取り組ませ、読解力の向上に努めさせる。 ○自分の考えをしっかりとった上で授業に取り組ませる。 ○読書指導担当者を中心に、学期ごとに貸し出し状況を把握し、啓発を行わせる。
	2 個に応じた指導の充実に努め、基礎的基本的な知識・技能を習得させる。	3. 0	
	3 学習意欲を高める授業、指導方法の改善・充実に努める。	3. 1	
	4 家庭学習の充実に努める。	3. 1	
	5 読書指導の充実に努める。	2. 6	
	6 特別支援教育の充実に努める。	3. 0	
	思いやり・たくましい・やり抜く心、健康づくり	平均	改善策
生徒指導	1 全校指導態勢で、生徒指導の充実に努める。	3. 0	○自ら進んであいさつができるように委員会活動と連携して、子供自らが気付く生活習慣を身に付けさせる。 ○考え議論する道徳の授業を継続するとともに、家庭と連携を図り心の教育を充実させる。
	2 「心の居場所」のある学級経営に努める。	3. 2	
	3 基本的な生活習慣を身に付けさせるために、家庭との連携に努める。	3. 2	
	4 「心の教育」や人権教育の推進に努める。	3. 0	
保健指導	1 保健指導の充実に努める。	3. 2	○感染症対策を継続すると共に、危険予知トレーニングにも取り組む。 ○「チャレンジかごしま」に取り組ませ、楽しく運動する習慣の育成に努めさせる。
	2 安全指導の充実に努める。	3. 1	
	3 給食指導の充実に努める。	3. 0	
	4 体力の向上に努める。	3. 0	
	開かれた学校、教育環境づくり	平均	改善策
地域連携	1 地域人材等の積極的活用、体験活動の充実に努める。	2. 3	○昨年度に引き続き、コロナ禍のために人材活用が難しかったが、収束後は活用できるように準備に取り組ませる。 ○PTAと協力しながら、子供の健全育成に積極的に関わり、地域の声に耳を傾けながら、指導方法について共通理解を図っていく。
	2 地域や家庭との連携、積極的な情報発信に努める。	2. 8	

3 次年度に向けての取組

- 国語科の研究（2年目）を中心に「主体的に学び、考える授業」をこれまで以上に意識した研修を学校として行う。
- タブレットの効果的活用方法の研究を進め、意見交流や考えの集約に意欲的の取り組ませる。
- 生徒指導を中心に「あ・ハ・は」「は・さ・み」運動を確実に実行できる校内体制を確立する。
- 教師一人一人の良さを認めつつ、「チーム清和」として共通実践事項が徹底できるようにさせる。